

保護者様

伊予市立下灘小学校 校長 伊賀上 純

学校教育に関するアンケート結果の報告について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと存じます。

12月には、「学校教育に関するアンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果と来年度に向けての改善点がまとまりましたので、お知らせいたします。今後も家庭・地域と連携しながら、子どもたちの健やかな成長のために努力してまいりたいと思います。皆様の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

なお、この学校評価の報告書はホームページにも掲載していますので御覧ください。

記

【「しっかりと考える子」をはぐくむために】

- 学習ルールが定着し、落ち着いた態度で学習に取り組んでいます。自分の学習態度を振り返り、意欲的に学習に取り組もうとする態度が育ってきました。
- 繰り返し学習や発表・振り返りの機会を増やしたことで、学力の定着につながり、児童が自信を持って学習に取り組めるようになりました。今後も、自分の考えを主体的に表現する機会を充実させるとともにし、ICT（EILSやeライブラリなどのドリル）を有効的に活用して、さらなる学力の向上につなげていきます。また、一人一人の学習状況を分析し、個に応じた「分かる授業」を推進していきます。
- 音読指導を続け、長文を読む習慣が身に付いてきました。また、図書委員会が「読書ビンゴ」をしたり、本の紹介をしたりするなどして、様々な本に親しむ機会を増やしてきました。今後も、児童に読書の楽しさを伝えることで、進んで読書に親しむ態度を育てていきます。

【「もくもくとがんばる子」をはぐくむために】

- 朝食を取って登校するなど望ましい生活習慣が身に付いている家庭が多いです。一方で、習い事やゲーム・スマホ等で寝る時間が遅くなっている児童もいます。今後も、規則正しい生活が送れるように生活習慣についてアドバイスを継続していきます。
- ITスタジアムや外遊び（サッカーや縄跳びなど）に積極的に取り組み、学年に応じた体力が身に付いてきました。また、地域の方の登下校時の見守りや避難訓練等で、交通事故や自然災害から、自分で命を守るという意識が定着してきました。
- 下灘太鼓の練習にOBや漁業後継者の会の方に参加していただき、先輩からの伝統を引き継ぐということ意識して取り組んでいます。下灘太鼓を通して、地域の方と触れ合い、地域を大切にしようとする思いを育てるとともに、地域の一員であるという自覚を高めていけるようにしていきます。

【「なかよく明るい子」をはぐくむために】

- 人権参観日では、高橋 真実子 氏による全校参観授業「鏡の中のぼく」の学習を行い、自分や他者の良さを知り、互いを大切にする児童の育成に務め、よりよい人間関係の在り方について学習をしました。

- 道徳科では、2学年で学習することで、多様な考えに触れ、自他の思いを大切にする児童が育ってきました。他校や地域との交流を取り入れることで、新たな人間関係を生み、思いやりや優しさのある言動も見られるようになりました。
- 学習リーダーが育ってきて、自分たちで自律して行動しようとする態度がよく見られるようになりました。今後も、この態度が育っていくように学年に応じた支援を続けていきます。
- 地域の方や来校者に進んで気持ちの良い挨拶をする児童が増えました。今後も、進んで気持ちの良い挨拶ができる児童を育て、時と場に応じた挨拶を意識できるように指導を続けていきます。

【「だんだんのびる子」をはぐくむために】

- 学校行事、集会等での地域の方との触れ合いの場を充実させていく中で、地域の一人として役に立ちたいという感情が育ちつつあります。
- 言葉遣いについては、相手の気持ちに寄り添った、優しい言葉遣いができるよう指導を継続してきました。時と場に応じた適切な言葉遣いができるようになってきました。今後も、日常的な言葉遣いについて継続的に指導をしていきます。
- 小規模校の特質を生かし、児童一人一人に対応した個別相談の時間を確保し、個に応じた指導や支援を行っていきます。

【管理・運営の徹底を図るために】

- 防災について、実際に災害が発生したときに起こりうる混乱を想定した避難訓練を実施しました。今年度は原子力災害の発生を想定し、地域と一緒に避難訓練を行いました。今後も地域と一緒に防災に取り組んでいきます。
- 教職員の勤務について、長時間勤務の解消が見られます。今後も、教職員一人一人が意識して、自らの働き方をマネジメントしていくことを呼び掛けていきます。
- 報告・連絡について、互いの意識のずれ違いや勘違い等が見られました。教職員に連絡・報告が行き届いていないこともあったため、今後は職朝や職員会の場を活用して、連絡・報告が遺漏なく行えるように努めていきます。

【学校運営協議員の皆様からの御意見】

令和7年2月20日（木）に、第5回学校運営協議会を行い、学校評価の結果を受けて「下灘地区でどんな子どもを育てたいか」というテーマで御意見をいただきました。

- (1) 地域外で見知らぬ人々の集団の中にいると、委縮してしまう子どもたちもいる。自己肯定感を高め、自分に自信を持ち、どのような時と場でも胸を張って自分を誇れる子どもを育ててほしい。
- (2) 気持ちの良い挨拶ができている。今後も、このような挨拶ができる子どもを育ててほしい。
- (3) 下灘地区を誇りに思い、下灘地区のために行動できる子どもを育ててほしい。そのことが、下灘地区の活性化にもつながる。そして、下灘小学校を将来にまで残してほしい。
- (4) 多くの人と交流することで多様な価値観に触れることを大切にするとともに、本（漫画も含めて）を読むことでも多様な価値観に触れさせ、創造性の豊かな子どもを育ててほしい。